

# 令和7年度 富吉小学校 学校運営協議会 実施報告

## 1 学校の概要

学校名	都城市立富吉小学校		校長名	渡邊 政彦	
学級数	6学級	児童生徒数	41名	職員数	12名
教育目標	自ら学び、豊かな心をもって、たくましく生きる児童の育成				

## 2 学校運営協議会に関わる組織

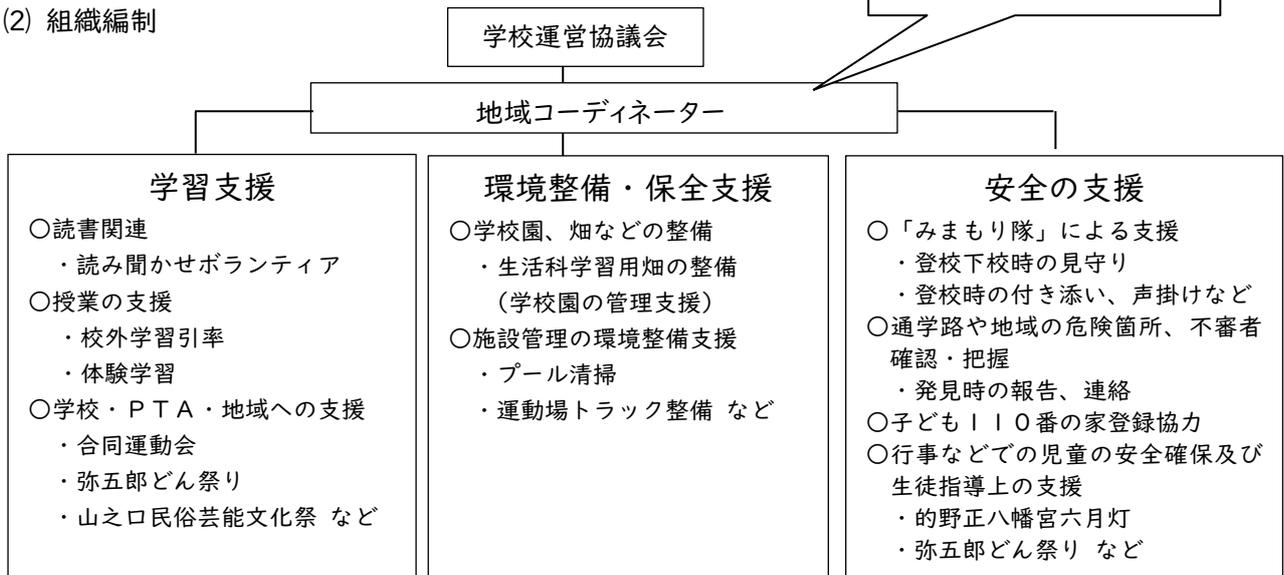
(1) 委員(計8名)・事務局(計3名)

学校運営協議会委員	No.	所属名(役職)	氏名	備考
	1	上富吉地域公民館長	西久保 五十六	委員長
	2	弥五郎どん祭り保存会長	紺家 紀宏	副委員長
	3	歴代PTA会長代表	南 茂博	
	4	民生児童委員	上徳 倫子	
	5	地域協力者	藤本 雪美	
	6	学校支援ボランティア	新美 潤子	
	7	元公民館長	日高 正嗣	
	8	PTA会長	日高 正太	

事務局	役職	氏名
	校長	渡邊 政彦
	教頭	角内 誠
	主事	厚地 凌吾

※ 各委員がそれぞれ地域コーディネーターの役割を担っている。

(2) 組織編制



## 3 活動報告

月日	主な活動及び内容
4月	学校運営協議会委員の選出
5月20日	第1回学校運営協議会(委嘱状交付、役員選出、学校経営ビジョン説明、質疑応答)
7月25日	山之口地区小中学校4校合同学校運営協議会 第2回学校運営協議会(1学期取組説明)
10月5日	富吉小・上富吉地域合同運動会
11月17日	第3回学校運営協議会(学校評価計画説明)
1月20日	第4回学校運営協議会(授業参観、学校評価結果説明)
2月17日	第5回学校運営協議会(学校評価報告書確認・承認、次年度計画、次年度の委員継続依頼)

#### 4 今年度実施した「熟議」のテーマ(小中合同学校運営協議会を含む)

7月:「校区内の危険箇所について」

#### 5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

##### (1) 学校支援活動

- 読み聞かせグループ「やまばと」が、毎月第3月曜日の朝の時間に読み聞かせを行った。
- 学校運営協議会委員が、1、2年生の生活科においてきんかんちぎり体験の支援を行った。
- みまもり隊が、朝の登下校の付き添いなどを行うとともに、山之口中学校、山之口地区まちづくり協議会と連携してあいさつ運動に取り組んだ。
- 弥五郎どん祭り保存会を中心に棒踊り、俵踊りの指導、祭りの着付けの手伝い、当日の踊り手として支援をいただいた。



【中学校・地域と連携したあいさつ運動】

##### (2) 教育課程の改善(カリキュラム・マネジメント)

- スマホの使用方法などが心配であるという意見を受け、都市教育委員会生涯学習課から講師を招聘し、学校保健委員会で講座「メディア安全指導」を5、6年生児童、保護者を対象に実施した。また、児童のスマホ・タブレットの使用状況について保護者にアンケートを取り、その結果をもとに、メディアの適切な使用の仕方について指導した。
- 地域の伝統である棒踊りの運動会での披露についてご意見をいただき、今年は、5、6年生児童が運動会で棒踊りを披露した。
- 「校区内の危険箇所について」の熟議で出された危険箇所をもとに、危険箇所マップを見直すとともに、児童に日常生活における安全な行動の仕方について指導した。



【運動会での棒踊り】

##### (3) 地域貢献活動

- 富吉小・上富吉地域合同運動会で、今年度は学校と地域合同プログラム「合同玉入れ」を実施し、児童と地域の方とのよき交流の場となった。
- 弥五郎どん祭りをはじめ、地域の祭りや行事に積極的に参加し、地域に貢献するとともに富吉小の取組を地域に理解していただく機会となった。
- 3、4年生児童がクリーン大作戦として、上富吉地区体育館、的野神社公園・参道周辺の清掃活動を行った。



【弥五郎どん祭り】

#### 6 学校運営協議会の成果と課題(○:成果 ●:課題)

- 協議会で地域の方々の要望を聞いたことで、看板の修繕など学校の環境改善に迅速に取り組むことができた。
- 校区内の危険箇所について協議したことで、地域の危険箇所についてより詳しく把握するとともに、児童の安全指導に生かすことができた。
- 教員の働き方改革について十分な協議をしていく必要がある。

#### 7 次年度の方向性

- 伝統芸能活動への取り組み方、発表の場などについて引き続き協議していく。
- 教員の働き方改革についても協議し、業務量管理・健康確保措置に生かしていく。
- 学校運営協議会と児童・保護者・地域とが双方向性で情報共有をするようにし、相互の取組がより有意義なものになるようにしていく。